



## 明石対中京 延長 25 回 記念試合開催のお知らせ

昭和 8 年夏の甲子園大会 明石中学と中京商業との準決勝は延長 25 回の大熱戦でした。決勝戦で勝利し史上唯一の三年連続優勝を達成します。90 年後の 2023 年から交流試合を行い、今年は兵庫県立明石高校が来校します。今年の試合は、以下の内容を予定しています。

- ① 25 回裏決勝のホームインをした前田利春選手の孫（前田憲宏様）の始球式
- ② 延長 25 回裏の小学生疑似体験

前田憲宏様は今年の「明石対中商」記念試合の報道から祖父が出場したことに気づき、始球式をしていただけることになりました。小学生の疑似体験は事前に延長 25 回に自らのエラーが決勝点になった嘉藤栄吉選手の気持ちを考える「道徳の授業」を受けています。当日は試合場面での緊張感を体験します。

参考 延長 25 回の熱闘は、兵庫県教育委員会の小学校道徳副読本で「忘れられない夏」として扱われています。25 回にエラーをした嘉藤栄吉さんが立ち直る姿に焦点を当てています。この教材を参考にし、滝川小学校の 6 年生を対象にした授業を 4 月 30 日に実践します。その子供たちが 5 月 6 日（水）に試合の疑似体験をします。また、現在の明石高校硬式野球部の高石監督は、中京大中京高硬式野球部、広島大学出身です。

つきましては、下記の日程にて行いますので、取材のご検討をよろしくお願いいたします。

### 記

- 日時：2026 年 5 月 6 日(水) 9時30分～10時30分
- 場所：中京大学附属中京高等学校 運動場(南門からお入りください)  
名古屋市昭和区川名山町122 TEL(052)761-5311
- 取材の申し込み：  
当日、9時30分までに学校の南門からお入りください。
- 雨天の場合は、体育館で前田様から両校の高校生と小学生へ話をさせていただきます。